

# 据付説明書

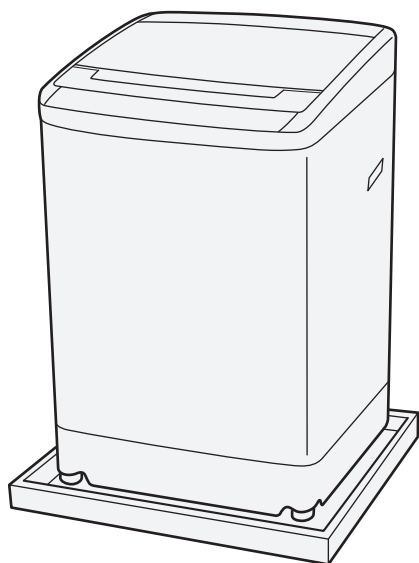
**HITACHI**  
Inspire the Next

## 日立全自動電気洗濯機

全自動洗濯機ビートウォッシュ

洗濯・脱水容量

10kg／9kg／8kg／7kg



イラストは代表機種

お客様は施工しないでください。

### 据え付けをされる方へ

- 据え付ける前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。
- 給水口、排水口、排水ホースによる水漏れなどを防ぐため、この「据付説明書」の内容に従って、正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後は、「試運転」「洗濯機設置時のチェックシート(据付確認書)」に従って、確認を行ってください。
- この「据付説明書」は、お客様にお渡しください。
- この「据付説明書」の内容どおりに据え付けしていない場合は、危害や損害を生じてても負担をおいかなますのでご了承ください。

### お客様へ

- 据え付けは、お買い求めの販売店か施工業者にご依頼ください。
- 転居や排水口などの点検時に、本体を移動する場合がありますので、この「据付説明書」は、「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

## もくじ

### ご使用の前に

安全上のご注意	2
付属品	3

### 据え付け場所の確認

水栓(蛇口)の確認	4
ワンタッチつぎでの取り付けかた	5
据え付け場所	6
防水パンの設置	6
防水パン、洗濯機用トレイ、設置台	7
排水トラップの設置	7
糸くずボックスの設置	7

### 据え付け

排水ホースの引き出しかた	8
排水ホースの接続	10
排水ホースを排水口に差し込む場合	10
排水ホースの長さ調節のしかた	10
排水エルボまたは排水トラップに接続する場合	10
排水ホースの延長	11
本体の下に排水口がある場合	11
水平を確認する	12
調節脚の使いかた	12
水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安	12
給水ホースの取り付けかた・外しかた	13
本体	13
ユニオンナットの取り付けかた	13
ユニオンナットの外しかた	13
水栓(蛇口)	14
取り付けかた	14
外しかた	14
給水ホース関連部品	14

### アース線の接続と電源の確認

アース線の取り付け	15
電源(コンセント)	15



### 点検

試運転	16
-----	----




# 安全上のご注意（必ずお守りください）

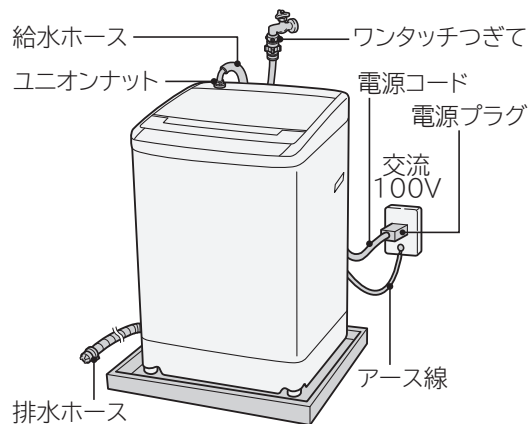
据え付ける前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。



## 警告

### 電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）



注意

- 据え付け作業を行う際は、手袋を着用する  
けがを防止するためです。



禁止

- 電源コードを傷つけない  
・傷つけない、加工しない ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない  
・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



指示

- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグを根元まで差し込む
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る



プラグを抜く

- 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く



アース線接続

- アース線を取り付ける  
アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。

### 本体の故障や事故を防ぐために（感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒・ふたのガラス部の割れや傷のおそれ）



水場禁止

- 浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない  
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。



禁止

- キャスター付きの設置台や、不安定な場所に据え付けない  
運転中の振動で本体が移動したり、転倒したりしてけがをするおそれがあります。

## ⚠ 注意

### 水漏れを防ぐために



禁止

#### ●給湯器とつながない

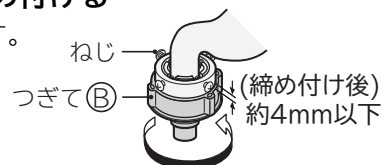
瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。



指示

#### ●付属品のワンタッチつぎてを使用し、つぎて⑧をしっかり締め付ける

- ・付属品以外のワンタッチつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
- ・長年使用するとねじやワンタッチつぎてが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
- 定期的な点検し、緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。

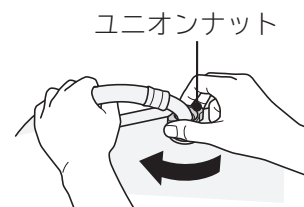


指示

#### ●給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。

ユニオンナットをさらに約90°回し、しっかり締め付ける

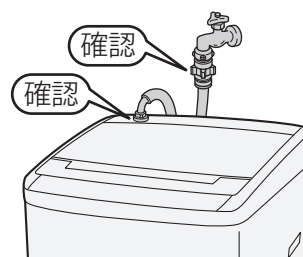
- ・付属品以外の給水ホースを使用すると、水漏れの原因になります。
- ・長年使用するとユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的な点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。



指示

#### ●据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて水漏れがないことを確認する

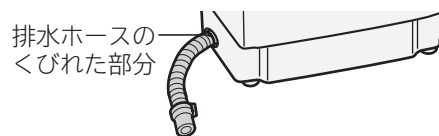
水栓接続部にさびや傷などが発生していると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。



指示



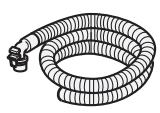
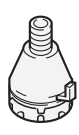
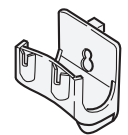


#### ●本体を据え付けるときは、ホース引出口に排水ホースのくびれた部分を合わせ、排水ホースを本体内部でたるませない

内部でたるんでいるとほかの部品と接触し、排水ホースが破れて、排水ホースのくびれた部分水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。



## 付属品

※太枠内：一部製品のみ付属

水栓(蛇口)との接続に 使用します		風呂水を使うときに 使用します		お湯取ホースを 片づけるときに 使用します	本体を水平に 据え付けるときに 使用します	お湯取ホースなど を収納するときに 使用します
給水ホース (約0.8m)	ワンタッチつぎて	お湯取ホース (約4m) (吸水ホース)	クリーン フィルター	お湯取ホース掛け	脚キャップ (高さ調整用)	ポンプバック
						
(1本)	(1個)	(1本)	(1個)	(1個)	(各1個)	(1個)

# 水栓(蛇口)の確認

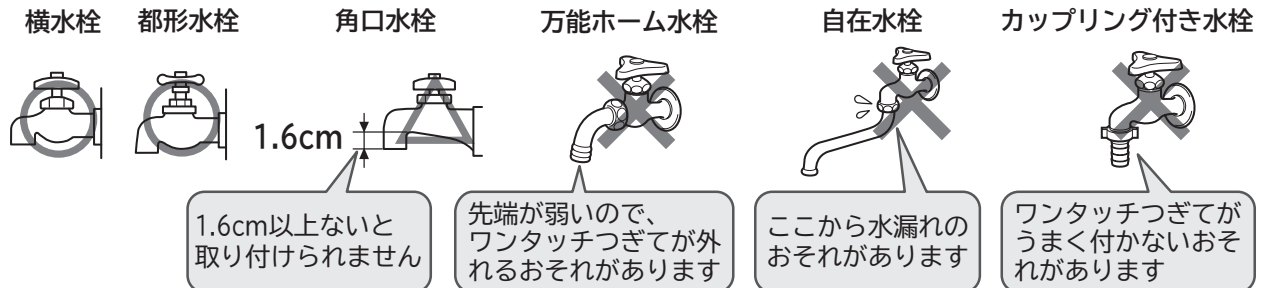
設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

## ワンタッチつぎてを使用する水栓の場合

横水栓、都形水栓など、適した水栓を使用してください。

適さない水栓にワンタッチつぎてを使用すると、水漏れするおそれがあり、保証はできません。

自在水栓は使用できません。

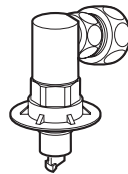


## ワンタッチつぎてを使用できない水栓の場合

給水栓ジョイント(オートストッパー付)  
CB-J6(別売り部品)

オートストッパー付水栓部品を使用してください。給水ホースが外れると、自動的に給水をストップし、水漏れを防止します。取り付け方法は、部品の取扱説明書をご覧ください。

※右記以外の給水栓部品は使用しないでください。ツバがないと外れて水漏れするおそれがあり、保証はできません。



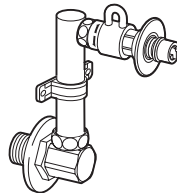
給水ホースの接続例

万能ホーム水栓・ ツバのない 全自動洗濯機用水栓	自在水栓	カップリング 付き水栓

## 水栓の位置が低く、本体の背面に水栓が当たる場合

壁ピタ水栓(オートストッパー付)  
CB-L6(別売り部品)

工事が必要です。

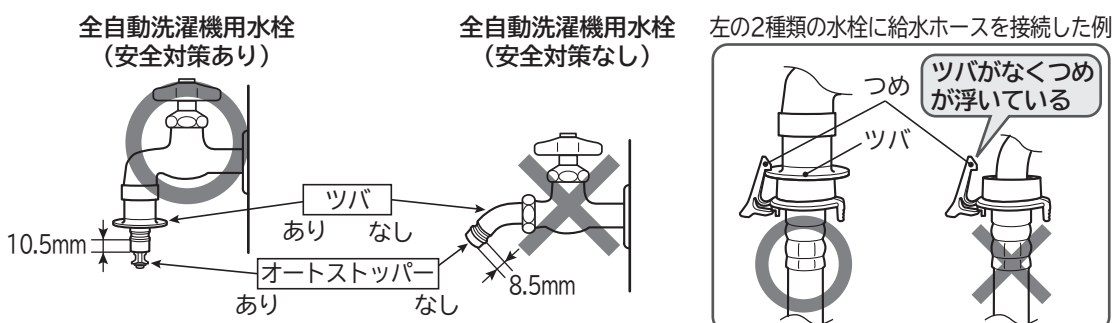


## 全自動洗濯機用水栓

全自動洗濯機用水栓(給水ホースを直接水栓に差し込める水栓)にも適合しない物があります。使用する場合は、日本電機工業会規格JEM1206に準拠した水栓を使用してください。(オートストッパー付きでツバがあり、先端寸法が10.5mmのものであれば問題ありません)使用している水栓が準拠しているかは、水栓メーカーにお問い合わせください。ただし、ツバのないものは使用できません。

また、水栓接続部にさびや傷があると、水漏れの原因になるため使用できません。

全自動洗濯機用給水栓  
(オートストッパー付)  
YS81(別売り部品)  
工事が必要です。



※オートストッパー付きは、給水ホースが抜けると自動的に給水が止まります。

# ワンタッチつぎての取り付けかた

## ⚠ 注意



付属品のワンタッチつぎてを使用し、つぎて③をしっかり締め付ける

指示

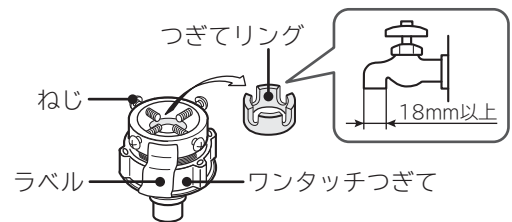
- 付属品以外のワンタッチつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
- 長年使用するとねじやワンタッチつぎてが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

水栓(蛇口)およびワンタッチつぎては、本体に触れないようにする

- 振動により水漏れの原因になります。
- 水栓(蛇口)のパッキンや金属部などが、長年使用していると経年劣化やさびなどにより、水漏れに至るおそれがあります。

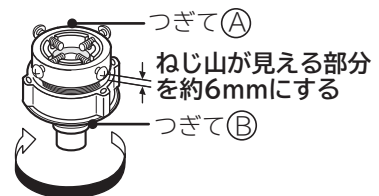
### 1 水栓(蛇口)の直径を確認する

直径が18mm以上のときは、つぎてリングを外します。

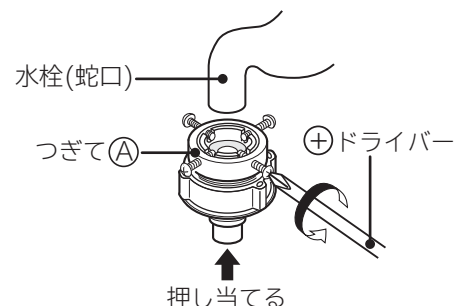


### 2 つぎて①、②とのすき間が6mmあることを確認する

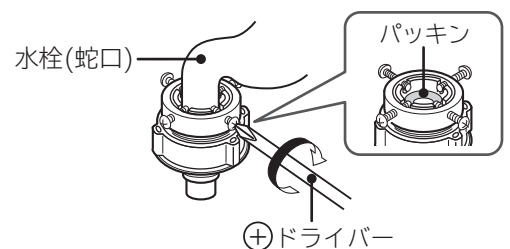
つぎて③を矢印方向に回し、すき間を調節します。



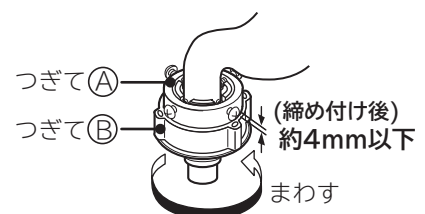
### 3 つぎて①のねじ4本を水栓(蛇口)の直径まで緩め、水栓(蛇口)の先端に押し当てる



### 4 壁側になるねじを先に手で締め、水栓(蛇口)がパッキンの中心になるように、ねじ4本を均等にしっかり締め付ける



### 5 つぎて③を矢印方向に回し、つぎて①と②のすき間を約4mm以下にする



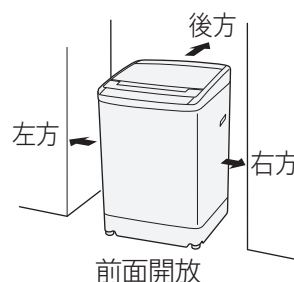
- 給水ホースの取り付けは、「給水ホースの取り付けかた・外しかた」→(P.13)をご覧ください。
- 長年使用するとねじやつぎて①、②が緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。  
②～⑤の手順に従い、取り付け直してください。付け直しても水漏れするような場合には、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り替えてください。(転居のときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください)
- ワンタッチつぎてが壊れたり、紛失した時は、別売り部品のワンタッチつぎて(NW-8EX 043)をお買い求めください。



# 据え付け場所

据え付けに必要な寸法を確認してください。

- 本体は前面を開放して、背面や左右の壁などから右表の寸法以上離してください。
- 排水ホースの引出側は、9cm以上離してください。  
異常な振動や音を防ぐためです。
- 別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)を使用するときは、排水ホース側を15cm以上離してください。
- 別売り部品の直下排水L形パイプを使用したときは、13cm以上離してください。

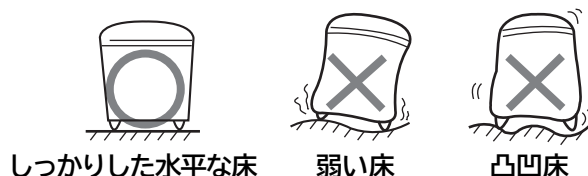


場所	離隔距離(cm)
左方	1.5※
右方	1.5※
後方	1.5

※排水ホース側は9cm以上

しっかりした床に、水平に据え付けてください。

すべりやすい床や、弱い床は、振動や騒音が大きくなる  
ことがあります。



直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばに据え付けしないでください。

本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色して本体が故障するおそれがあります。

屋外など凍結のおそれがある場所に、据え付けしないでください。

本体内部の残水が凍結し、思わぬ被害を招くことがあります。

## 警告



禁止

有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を扱う場所に据え付けない

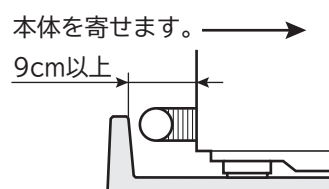
引火したり、プラスチック部品が故障するおそれがあります。

# 防水パンへの設置

内寸が幅62cm以上、奥行53cm以上、高さ8cm以内の防水パンに設置できます。

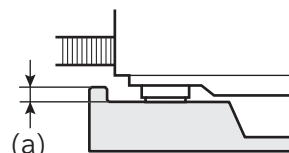
(BL規格防水パン対応)

- 排水口の位置によっては、別売り部品の直下排水L形パイプ(HO-P5)が必要です。
- 排水口が本体の下になり、お手入れができない場合は、別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)→(P.7)を設置することをおすすめします。
- 排水ホース出口位置が防水パンの高さより高い場合は、本体を寄せて排水ホース側のスペースを9cm以上離してください。



- 四隅が高くなっている防水パンは、排水ホース出口位置が高くなります。

(a)寸法が19mm以下の防水パンに設置できます。



# 防水パン、洗濯機用トレイ、設置台

設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

床面を結露による水滴から守るときに、別売り部品の洗濯機用防水パン(TP-780)・洗濯機用トレイ(YT-4)を設置することをおすすめします。

## 警告



防水パン使用時は、防水パンの排水に注意する

防水パンの排水口が詰まると、水がたまりあふれて感電するおそれがあります。

指示

本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、本体の脚を防水パンから外に出して据え付けるときは、別売り部品の設置台(UP-D2)または(UP-D3)を設置することをおすすめします。

設置台 (UP-D2)	洗濯・脱水容量：10kg/ 9kg/ 8kg
設置台 (UP-D3)	洗濯・脱水容量：7kg

キャスター付きの設置台や底面が開口した設置台は、排水ホースが外れたり、本体が転倒してけがをするおそれがありますので、使用できません。

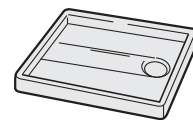
## 警告



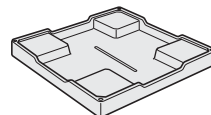
本体を高くするときは、別売り部品の設置台を使用する

別売り部品の設置台以外を使用すると、本体の下に回転部があるので、手足などが入り、けがをするおそれがあります。

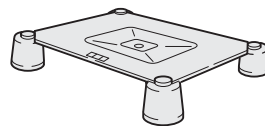
指示



洗濯機用防水パン (TP-780)  
(幅780×奥行640×高さ63mm)  
工事が必要です。



洗濯機用トレイ (YT-4)  
(幅640×奥行640×高さ83mm)  
部品番号 YT-4-001



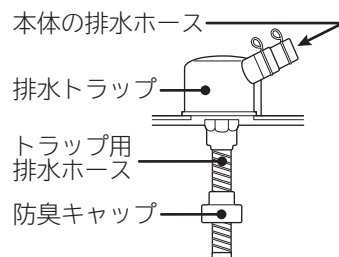
設置台 (UP-D2)  
設置台 (UP-D3)

据え付け場所の確認

## 排水トラップの設置

排水口からの逆流やにおいの吸い込みを防ぐために、別売り部品の洗濯機用排水トラップ(YT-T1)を設置することをおすすめします。

- 排水トラップ(YT-T1)の設置には工事が必要です。
- 据え付けにあたっては、設置条件を確認してください。  
本体横に13cmの設置スペースが必要です。
- 排水トラップの説明書をご覧ください。  
接続後は、排水ホースを引っ張っても抜けないことを確認してください。  
また、試運転を行い、排水ホース接続から水漏れがないことを確認してください。

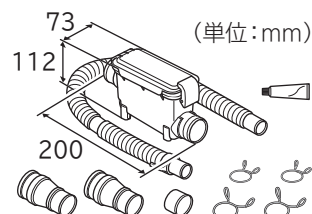


洗濯機排水トラップ(YT-T1)

## 糸くずボックスの設置

排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったときや、掃除が困難な設置条件の場合は、別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)を設置することをおすすめします。

- 排水ホースに取り付け、洗濯した際の糸くずなどを集めて取り除きます。
- 排水トラップを使用する場合は、あわせて設置することをおすすめします。  
排水トラップの詰まりを防止することができます。



糸くずボックス(WLB-4)  
部品番号 WLB-4-001

# 排水ホースの引き出しかた

## ⚠ 注意

- ❗ 据え付けるときは、ホース引出口に排水ホースのくびれた部分を合わせ、排水ホースを本体内部でたるませない  
内部でたるんでいるとほかの部品と接触し、排水ホースが破れて水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。
- 指示 排水ホースの先端はしっかりと排水口へ入れる

排水ホースは、出荷時本体下部に固定されています。

排水口の位置に応じて、下記手順に従って本体の左側、あるいは右側に付け替えてください。

排水口の位置が本体の下にあるときは、「本体の下に排水口がある場合」→(P.11)をご覧ください。

**ご注意** 固定されている排水ホースを引き出す場合、無理に引っ張らないでください。

## 1 本体を静かに前側へ倒す(ガラスフタが開かないようにテープなどで固定する)

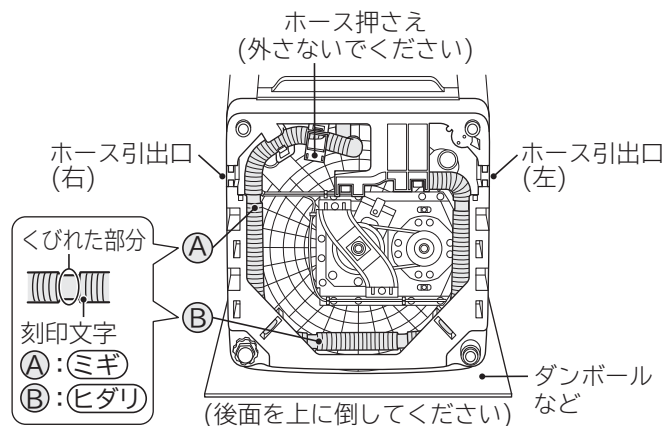
本体を倒す場合、傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。

ガラスフタが勢いよく開き、けがをするおそれや、部品が破損や故障する原因となりますので、静かに倒してください。

## 2 排水ホースを本体から取り外し、ホース引出口(右)、または(左)に取り付ける

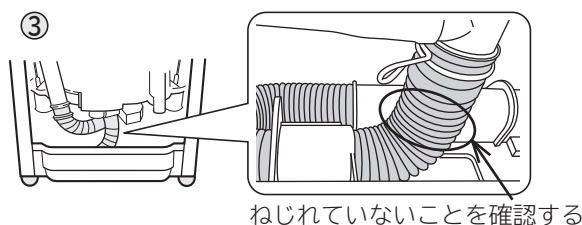
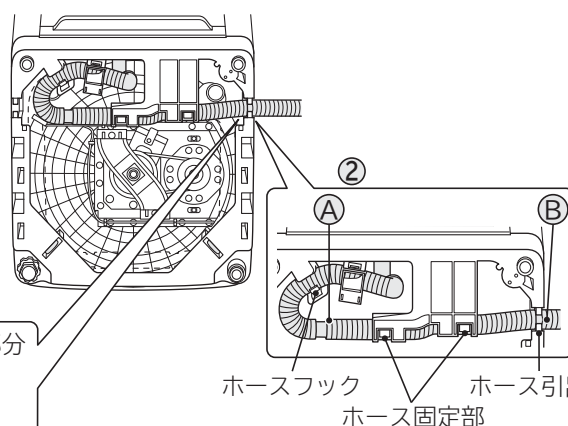
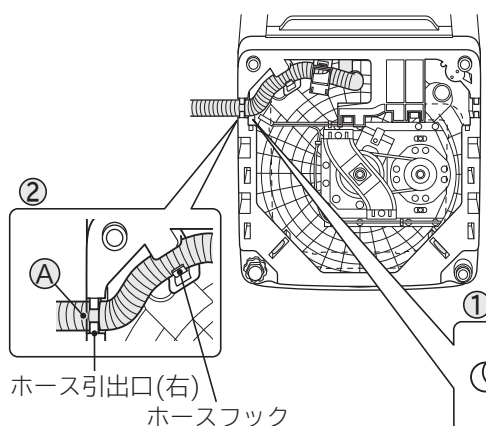
洗濯・脱水容量10kg/9kg/8kgの場合

- 排水ホースの刻印文字(A:㊦、B:㊧)を本体の外側に合わせ、くびれた部分をホース引出口にはめ込む
- 右側に引き出す場合はホースフック(1か所)、左側に引き出す場合はホースフック(1か所)とホース固定部(2か所)に固定する
- 排水ホースが本体内部でねじれていないことを確認する



ホース引出口(右)に取り付ける場合

ホース引出口(左)に取り付ける場合

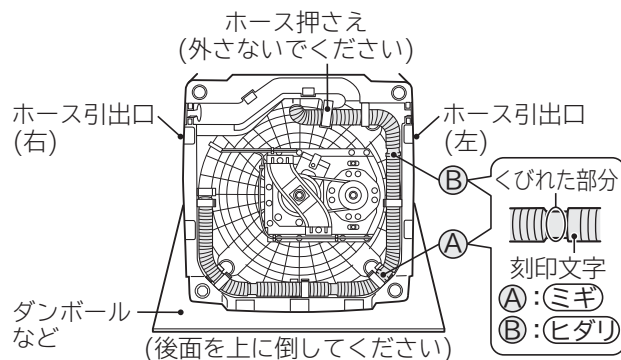


**ご注意** ホースフック部へ排水ホースを取り付ける場合、ホースフックの角部で破損や穴をあけないように注意してください。また、排水ホースのくびれた部分など適切な位置で固定するようにしてください。

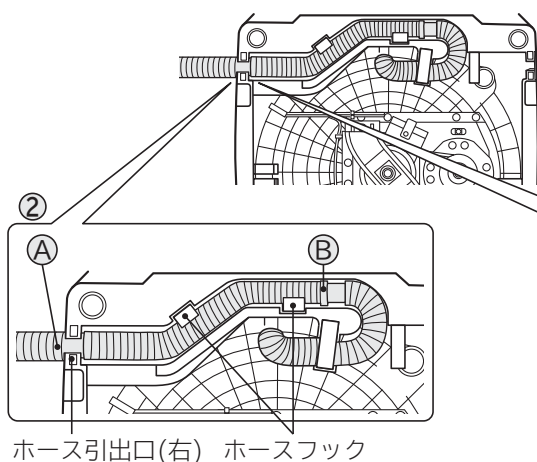


## 洗濯・脱水容量7kgの場合

- ① 排水ホースの刻印文字(A:㊦ギ、B:㊦ダリ)を本体の外側に合わせ、くびれた部分をホース引出口にはめ込む
- ② 右側に引き出す場合はホースフック(2か所)、左側に引き出す場合はホースフック(1か所)に固定する
- ③ 排水ホースが本体内部でねじれていないことを確認する

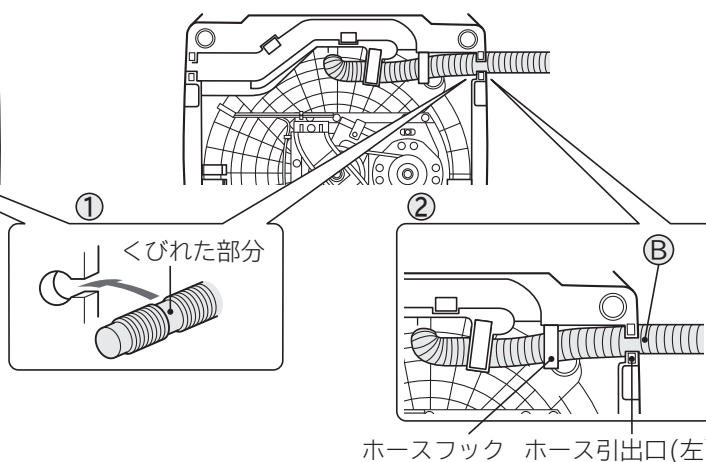


### ホース引出口(右)に取り付ける場合

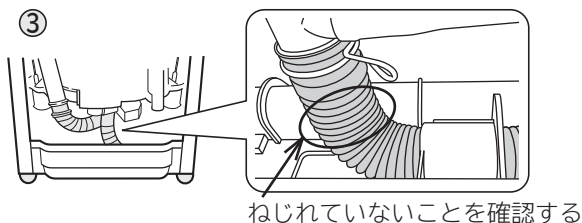


ホース引出口(右) ホースフック

### ホース引出口(左)に取り付ける場合



ホースフック ホース引出口(左)



ねじれていないことを確認する

**ご注意** ホースフック部へ排水ホースを取り付ける場合、ホースフックの角部で破損や穴をあけないように注意してください。また、排水ホースのくびれた部分など適切な位置で固定するようにしてください。

## 3 排水ホースの先端は、しっかり排水口に差し込む

排水ホースが外れると、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。

# 排水ホースの接続

## ⚠ 注意



据え付ける前に排水口・排水トラップのお手入れをする

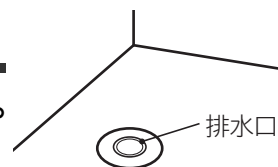
排水口・排水トラップに糸くずなどがたまっていると、排水不良やにおいの原因となります。

指示

## 排水ホースを排水口に差し込む場合

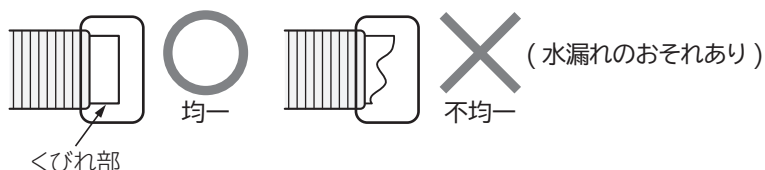
排水ホースの先端に、ホースピースが付いていることを確認してください。

排水ホースの長さを調節するときは、下記の手順により作業を行ってください。



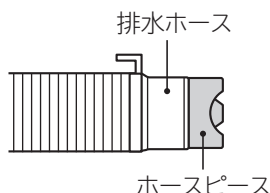
### 排水ホースの長さ調節のしかた

- ① 希望の長さのところで排水ホースをはさみやカッターなどで切断する  
切断面は均一にしてください。  
排水ホースを切断の際は、けが防止のために手袋を着用してください。

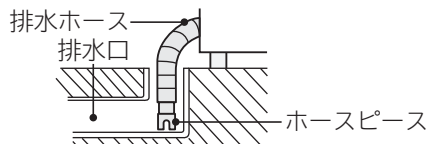
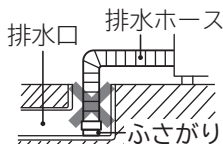


- ② 排水ホースの先端についているホースピースを付け直す

ホースピースを付けないと、排水がわるくなり、すすぎが不十分になったり、発泡して運転が止まることがあります。

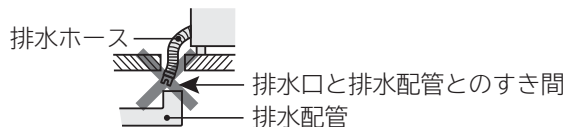


- 排水ホースの先端がふさがっていないことを確認してください。  
排水口が浅く、先端がぶつかっていると、排水がわるくなります。
- 排水ホースは折れ曲がらないように差し込んでください。
- 排水ホース先端が、排水の力や振動などで抜けないよう、しっかり差し込んでください。



排水配管が見えない場合は、排水配管の位置を確認してから、排水ホース先端を差し込んでください。

確認しないで差し込むと、水漏れの原因になります。



## 排水エルボまたは排水トラップに接続する場合

- ① ホースピースを排水エルボまたは排水トラップに接続する
- ② 接続後、ホースバンドで固定する

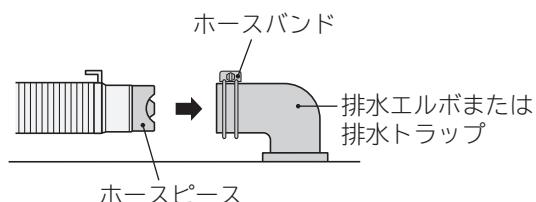
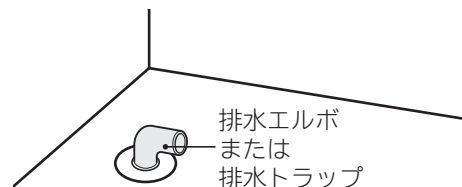
## ⚠ 注意



ホースピースの根元までしっかりと差し込む  
ホースバンドを固定したあと、排水ホースが抜けないことを確認する

指示

排水ホースが外れて水漏れするなど、思わぬ被害を招くことがあります。



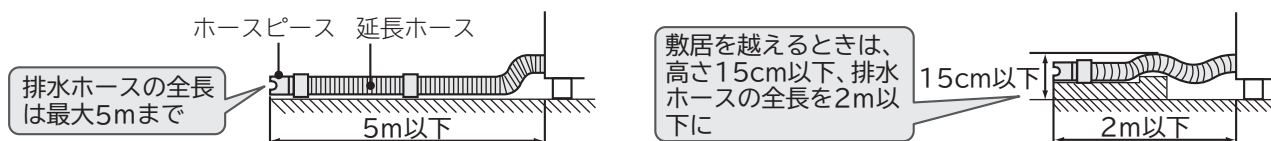
## 排水ホースの延長

排水ホースを延長するときは、別売り部品の延長用排水ホースを使用してください。

部品番号 KW-50K1-023(長さ約80cm)

排水ホースを延長するときは、排水性能がわるくならないように、次の点をお守りください。

- 排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合は、排水ホース内部に糸くずなどの異物が詰まりやすくなります。
- 市販品の延長ホースを使用する場合、排水性能がわるくなり、正常な運転ができなくなる場合があります。
- 排水トラップを設置している場合は、定期的に排水トラップ内を掃除するようにしてください。  
排水トラップ内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。



### ⚠ 注意



排水ホースの高さは15cm以下にし、排水口を詰まったままにしない  
「C2」や「Ch」が表示される場合があります。

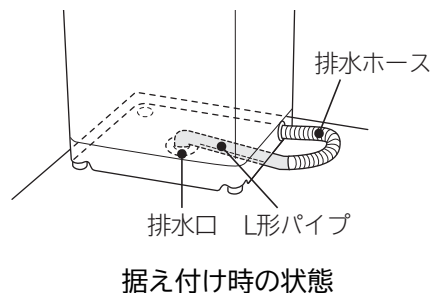
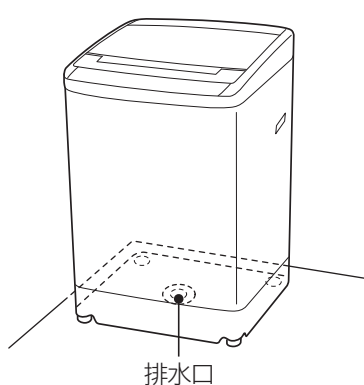
指示

据え付け

## 本体の下に排水口がある場合

本体の下に排水口があるときは、別売り部品の直下排水L形パイプ(HO-P5)を使用してください。

据え付けにあたっては、直下排水L形パイプ「HO-P5」に同梱の取扱説明書に従って設置してください。



### ⚠ 注意



右図のような排水ホースの取り出しは  
しない

禁止 水漏れや異音の原因になります。



# 水平を確認する



## 注意



本体を水平に据え付ける

水平に据え付けしないと、故障や水漏れ、脱水中の停止、異常音の原因になります。

指示

### 1 本体を据え付け場所に置く

本体がガタつく場合は、次のように調節してください。

#### 調節脚側が、ガタつく場合

調節脚を高くしてガタつきをなくしてください。

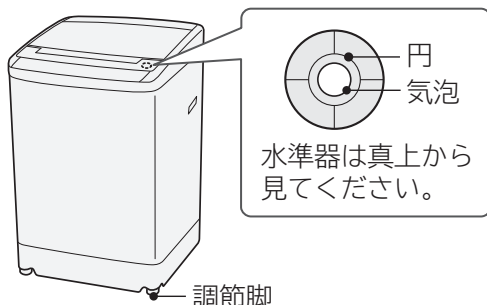
#### 調節脚の反対側が、ガタつく場合

後ろ側の脚を床につけ、前側の脚と床面とのすき間に適当な板材などを敷いて、ガタつきをなくしてください。

### 2 水準器の気泡の位置を確認する

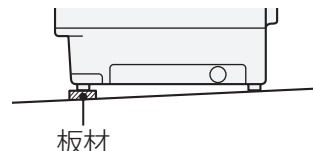
気泡が円の中に入っている場合は、脚の調節は必要ありません。

気泡が円の中に入っていない場合は、付属品の脚キャップで本体の水平を調節してください。



### 3 水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に付属品の脚キャップを取り付ける(調節脚は回して高さを調節します)

脚キャップだけで調節できない場合は、床面の傾斜が大きいので適当な板材などを敷いてください。



### 4 本体にガタつきがないことを確認する

ガタつきがある場合は、調節脚で調節してください。

#### 脚キャップについて

- 付属品の脚キャップは、4mm、8mmが各1個同梱されています。必要に応じ、高さの低い方を下にして組み合わせて使用してください。

- 脚キャップを調節脚に取り付けることはできません。

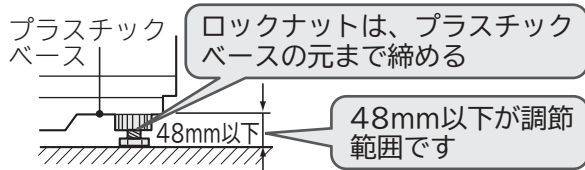
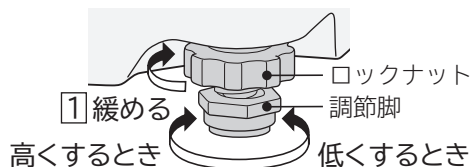
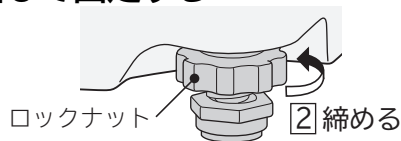


## 調節脚の使いかた

### 1 ロックナットを矢印方向①に回して緩め、調節脚を回してガタつきを調節する

14mmまで高さ調節ができます。

### 2 調節が終わったら、ロックナットを矢印方向②に「カチッ」と音がするまで回して固定する



## 水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安

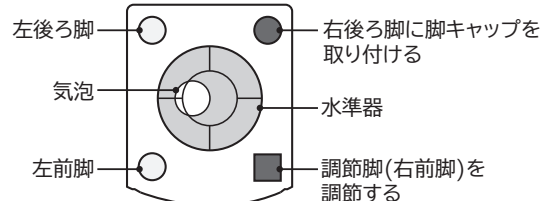
調節例			
気泡が円からはみ出している場合			
① 脚キャップを取り付ける 調節する	② 脚キャップを取り付ける 調節する	③ 脚キャップを取り付ける 調節する	④ 脚キャップを取り付ける 調節する

#### ■左表の見かた

気泡の片寄り方向とはみ出し量を確認します。

(例) 気泡が左脚方向にはみ出している場合 ➡ 調節例の①

(本体を上から見た状態です)

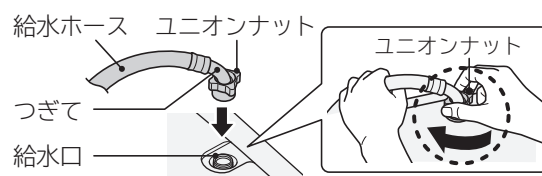


# 給水ホースの取り付けかた・外しかた

## 本体

### ユニオンナットの取り付けかた

- 1 給水ホースのつぎてが回らないように片手で押さえながら、ユニオンナットが傾かないように給水口に合わせる
- 2 つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを矢印方向に回す
- 3 ユニオンナットをさらに約90°回し、しっかり締め付ける



### ⚠ 注意



#### 付属品の給水ホースを使用する

付属品以外の給水ホースを使用すると、水漏れの原因となります。

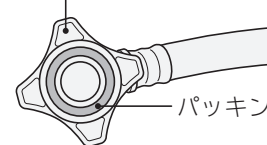
指示

ユニオンナット内のパッキンに異物が付着していたり、パッキンが斜めに取り付けられていないことを確認する  
水漏れの原因となります。

ユニオンナット取り付け後に、つぎてのぐらつきやユニオンナットの緩み・傾きがないことを確認する

- 水漏れの原因となります。
- 長年使用するとユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。  
緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。

ユニオンナット



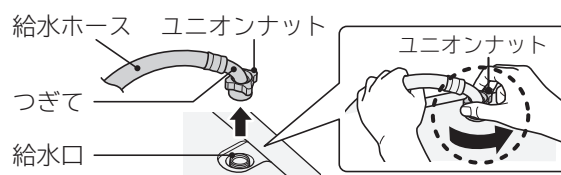
据え付け

### ユニオンナットの外しかた

給水ホースが水栓(蛇口)側と接続されていない場合は、手順⑦のみ実施してください。

- 1 水栓(蛇口)を閉める
- 2 **切入** を押し、電源を入れる
- 3 **洗濯** を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ  
すぐに給水動作が始まるためです。
- 4 **スタート一時停止** を押し、約1分間運転する  
給水ホース内の残水が、洗濯・脱水槽内に入ります。
- 5 **スタート一時停止** を押し、運転を一時停止する
- 6 **切入** を押し、電源を切る
- 7 ユニオンナットを矢印方向に回して給水ホースを外す

給水ホース内の残水が垂れる場合があります。  
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか  
ぞうきんなどで水を受けてください。



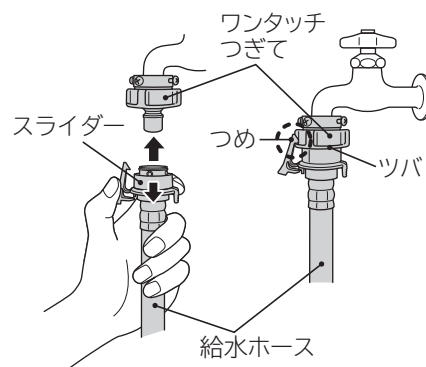


# 給水ホースの取り付けかた・外しかた(つづき)

## 水栓(蛇口)

### 取り付けかた

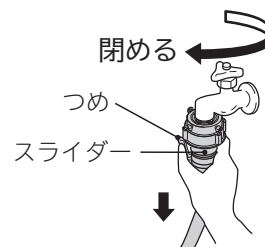
- 1 スライダーを押し下げる
- 2 スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む
- 3 スライダーを離して、「パチン」と音がるまで給水ホースを押し上げる
  - 給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバにしっかり掛かっていることを確認してください。
  - 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。



### 外しかた

給水ホースが水栓(蛇口)側と接続されていない場合は、手順⑦のみ実施してください。

- 1 水栓(蛇口)を閉める
- 2 **切入** を押し、電源を入れる
- 3 **洗濯** を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ  
すぐに給水動作が始まるためです。
- 4 **スタート一時停止** を押し、約1分間運転する  
給水ホース内の残水が、洗濯・脱水槽内に入ります。
- 5 **スタート一時停止** を押し、運転を一時停止する
- 6 **切入** を押し、電源を切る
- 7 つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す



### 給水ホース関連部品

給水ホースを延長するとき

長さ	部品番号
1m	KW-S451-618
2m	KW-S451-619
3m	KW-S451-620

本体と水栓(蛇口)の距離が近いとき

長さ	部品番号
0.5m	NW-6SD-031

# アース線の取り付け

## 警告



### アース線を取り付ける

アース線を取り付けしないと、漏電のときに感電することがあります。

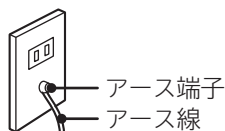
アース線接続

## アース線を取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 据え付け場所の変更や転居の際には、アース線の取り付けを行ってください。

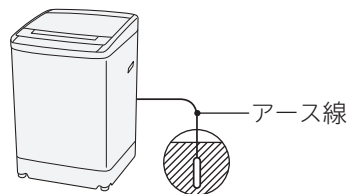
### アース端子がある場合

アース線をアース端子に接続してください。



### アース端子がない場合

アース工事をしてください。



(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています)

## 注意



次のようなところには、アース線を接続しない(法令などで禁止)

ガス管、電話線、避雷針、水栓(蛇口)

禁止

・水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

# 電源(コンセント)

## 警告



禁止

### ●電源コードを傷つけない

- ・傷つけない、加工しない
- ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
- ・加重をかけない、挟み込まない

### ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

### ●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない

### ●タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



指示

### 定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使う

ほかの器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

# 試運転

設置後は、洗濯・脱水槽内に何も入れないで下記手順にて試運転を行い、異常音、ホース接続部からの水漏れや、排水ホース先端が排水口から抜けていないことを確認してください。

- 1 **スタート**  
一時停止 を押したまま、電源 **切/入** を同時に4秒以上押すと  
表示部に「77」が表示される

- 2 **スタート**  
一時停止 を押し、水栓(蛇口)をゆっくりと開ける  
本体に急激な水圧をかけないため、水栓(蛇口)はゆっくりと開けてください。  
運転が始まり、約5分後に自動で停止します。

運転行程	時間	確認のポイント
① 洗剂量測定 ↓	約15秒	・ 洗剂量表示が出るか
② 給水 ↓	約150秒	・ 給水されているか ・ 接続されるホース(給水ホースなど)から水漏れがないか
③ 洗い ↓	約15秒	・ かくはん翼が回っているか ・ 水漏れや異常音がないか
④ 排水 ⑤ 脱水	約120秒	・ きちんと排水されているか ・ 接続されるホース(排水ホースなど)から水漏れがないか ・ 異常音がないか

※時間は、水道水圧や排水状態により変動します。

- ④以降はふたが閉じていないと「C3」お知らせ表示が表示されます。ふたを閉じて運転してください。
- 終了のメロディが鳴り、自動で電源が切れます。
- 運転終了後に、給水ホース接続部や本体などから水漏れして、床面などがぬれていないことを確認してください。

## ⚠ 注意



### 水栓(蛇口)をゆっくりと開ける

給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。

**本体据え付け後や移設後など、水栓接続を変えたあとや運転前は、水栓(蛇口)を開いて水漏れがないことを確認する**

ねじ接続部が緩んでいると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

また、長年使用していると、パッキンの経年劣化や金属部のさびなどにより、水漏れするおそれがあります。